

世界脳週間京都講演会

ようこそ

脳科学の最先端へ

世界脳週間

2025

脳を知る。
創る。守る。育む。

主催 特定非営利活動法人 脳の世紀推進会議

共催 国立研究開発法人 理化学研究所 脳神経科学研究センター／(公財)ブレインサイエンス振興財団

協力 日本神経科学学会／日本神経化学会／日本神経回路学会

開催趣旨

主催者 特定非営利活動法人 脳の世紀推進会議
理事長 水澤 英洋

「世界脳週間」とは、脳科学の科学としての意義と社会にとっての重要性を一般の方々に啓発することを目的として、世界的な規模で行われるキャンペーンです。

アメリカでは神経科学学会が中心となり、1992年から毎年3月に「脳週間」を設け、公開講演・討論、病院や研究所の公開、学校訪問などの公開行事を企画し実施しています。それに呼応して、1997年からヨーロッパにおいても「脳週間」が実施されています。この両者が連携して1999年には同時期に「脳週間」を開催、さらに2000年からは、国際脳研究機構やユネスコの後援を受け、アジア、南米・アフリカの各国にも呼びかけ、「世界脳週間」と銘打って世界的な規模に拡大しました。

わが国もこの「世界脳週間」の意義に賛同し、本法人が主体となり、高校生を主な対象として2000年より参画しています。

わが国においては、高校生が参画しやすいように、各地の高校の既存行事と重ならないよう、主に3月中旬から夏休みにかけて企画されており、これらの行事には高校の先生方もご出席くださるようお願いしております。

皆さまの積極的なご参加を期待しております。

京都神経科学グループ 世話人代表 河田 光博

今年も京都では、暑い祇園祭の間に世界脳週間の一環として、若い高校生を対象に講演会を開催します。「脳科学」は受験科目ではありません。しかし、知りたいという衝動に駆られ、ヒトやものごとを探究することは、脳を自由に使い、新たな発見の喜びにつながります。

ところで脳はどんなふうに働いているのでしょうか？ シナプス？ 神経細胞の電気活動？ 神経伝達物質？ いろいろと断片的な言葉は聞いたことがあるかも知れません。

今回、お話しいただく岡村康司教授には、脳の活動がどのようになりたっているのか、その基本となる理論や実験について、わかりやすく解説していただきます。

多様なブレインサイエンスの研究の醍醐味を体感し、教科書では得られない未知の世界をのぞいてみましょう。

【脳の世紀推進会議 事務局】

〒168-0074 東京都杉並区上高井戸2-2-7 株式会社コナ・オフィス 内
TEL: 080-9281-6902
E-mail: brain.konaoffice@gmail.com

World Brain Awareness Week

2025 年 7 月 19 日 土

14:00～16:30

会場 東山高等学校 (京都市左京区永観堂町 51)

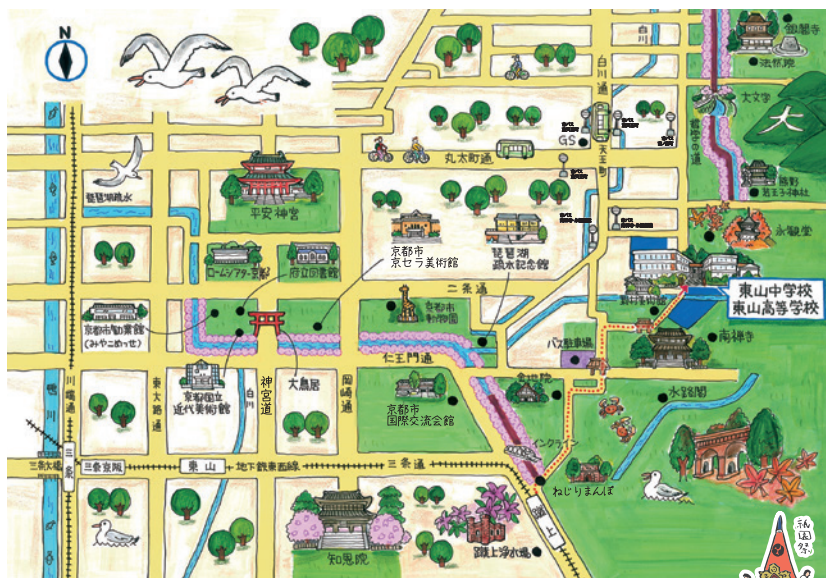
対象 高校生 (対面形式における講演、質疑応答)

主催 京都神経科学グループ

代表 河田 光博 (京都岡本記念病院 教育センター 京都府立医科大学名誉教授)

講演 脳の電気信号を作り出す分子の仕組み

岡村 康司 教授 (大阪大学 大学院医学系研究科 統合生理学)



【交通機関】
・京都市バス「南禅寺・永観堂道」下車 東へ徒歩5分
・京都市バス「東天王町」下車 東南へ徒歩6分
・地下鉄東西線「蹴上」下車 1番出口 北へ徒歩約10分

【お問い合わせ先】
澤田 寛成 (東山高校) hr_sawada@higashiyama.ed.jp
玉井 克樹 (東山高校) k_tamai@higashiyama.ed.jp
河田 光博 (京都岡本記念病院) m-kawata@okamoto-hp.or.jp

<http://www.braincentury.org/>